

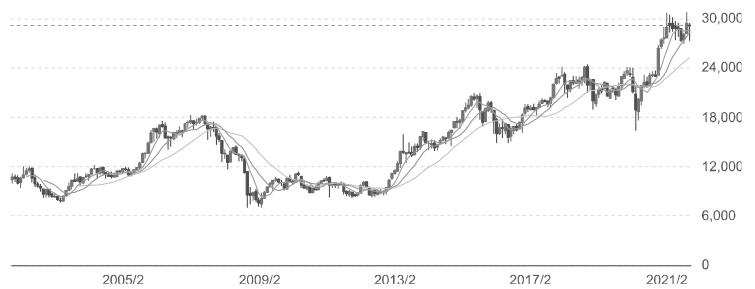
## 投資の考え方 ～分散投資の重要性～

令和3年11月作成



前回は投資の基礎としていくつかの金融商品をご紹介しました。今回はもう一步踏み込んで、投資の考え方について基礎的な話をしてみたいと思います。まず、**投資をするにあたって重要なキーワードが二つ、①「長期」と②「分散」**です。①の長期については、**読んで字のごとく、投資はじっくりと腰を据えて長期間行うべきである**という事です。世の中では「この前買った株が5倍に値上がりした」などという話を聞くこともありますが、**そうある話ではありません**。また、仮にそういう投資先があったとしても、そのタイミングで、その投資物件を購入して、更にいいタイミングで売却できる人というのは、ほんの一握りの人です。これを狙うのでは宝くじを買うのと大差がありません。しかし、右下のグラフを見てください。これは日経平均の過去約20年間の値動きを表したグラフです。**株価は上がったたり下がったりを繰り返していますが、下がるばかりではなく、必ず上がるタイミングがあります**。さらに言うと、**長期間で見れば値上がり傾向が見て取れます**。このことから、**株価は短期的には下落することがあっても、長期的に見れば値上がりする可能性が高いことがわかります**。すなわち、**投資はすると決めれば、短期的な値動きに一喜一憂するのではなく、長期間投資を続けるという事が重要**であると言えます。

次に②分散についてです。この分散には更に⑦時間分散と④銘柄分散に分けることができます。右のグラフからイメージしやすいのは⑦時間分散でしょうか。投資は、安いときに買って高いときに売れば利益が出ます。しかし、そのタイミングを事前に把握することはできません。そのため、**値動きによるリスクを軽減するため（高値掴みしないため）**



出典：YAHOO ファイナンス

**に購入のタイミングをずらしながら投資を行う**というのがこの時間分散です。そのための方法として有名なのがドルコスト平均法ですが、これについては別の機会にお話したいと思います。次に④**銘柄分散**ですが、これは何も色々な銘柄の株を無作為に購入するという意味ではありません。**重要なのは投資先を適切にカテゴライズして、特定の Kategorie に偏らない投資を行うという事**です。たとえば、投資資金を株式ばかりに集中するのではなく、投資信託や債券も併せて購入するなどです。更に投資信託や株式においては、**同じ業種のものばかりを買わないようにすることが重要**です。今回のコロナ禍では外食業・観光業等が大きな損失を受けました。このような時に、もしこれらの業界に**偏った株式や投資信託を購入していた場合、大きな損失を被った方がいる**でしょう。しかし、特定の製造業や情報通信業、医薬品関連業等の業種の株式や投資信託を購入していた人の中には儲かっている人も多いと思います。株式や投資信託への投資に関しては、このように**業種を分散させることも、大きな損害を受けないためには重要**です。もっと広い視野を持てば、日本の企業のものばかりではなく、海外の債券や、外国株式を運用する投資信託への投資等もリスク軽減のための有効な手段となりえます。